

新春 上田創造館
昔ばなし語りの会
おめでたい話

2025年1月26日(日) 13:30~15:30
上田創造館〈民俗資料館〉



主催 塩田平民話研究所・上田創造館

本日の語り

「正月の神さま」 中村 安子

「天福地福」 金箱 陽子

「大黒様と四十八豆」 坂井 弘

「戸板かつぎ」 小林 寛恵

「たからげた」 市川 和枝

「石の正兵衛さん」 坂井 弘子

「山姥と西の長者」 稲垣 勇一

本日は、お越しいただきありがとうございました。

次回「昔ばなし語りの会」のご案内

とっこ館

3月23日（日）

前回 8 月 18 日の「昔ばなし語りの会」で お寄せいただいたご感想

- 語りを聞いて、自分で想像しながら物語ができていく。面白いです。
- 昔にあったことなどいっぱいきけてよかった。またきたい。(小学生)
- 皆さんそれぞれ素晴らしかったです。いい時間をありがとうございました。
- たのしかったです。
- いつも楽しく聞かせていただいております。

「蛇の湯治」蛇女の迫力ある声で、なかなかこわかったです。
「じいさん、いるかい」追いつめられた薬屋さんに同情しました。何にも悪くないのに。
「炭焼きかかの首」ふしぎな話でした。串ざしの女の首、なかなかこわいですが、家に泊めてもらうのに、何度言われても「二人」というのが、いじらしいですね。血の涙を流してととの名を呼ぶ女、あわれでした。
皆さん、心に沁みる深い声で聴き入りました。ありがとうございました。
- たまたま図書館へ来て知りました。みなさん話し方がとてもすばらしかった。またぜひ聞きたいと思います。
- 久しぶりに聞かせていただき、本当に楽しめました。日本の昔話は、基本的に優しいと改めて感じました。

中村さん、益々いろいろ端のおばあちゃんが板につき、素晴らしい雰囲気です、一気に昔話の世界に引き込まれました。どうぞいつまでもいつまでも活躍ください。

みなさん、本当に各々の世界をお持ちで、とても素敵でした。
稲垣先生にお会いしたくてお会いしたくて、伺いました。先生、お元気でいてください。
- 稲垣さん 92 歳とは…。また中村さんもすご～いですね。好きな事ができるとはありがたいですね。

前半は知っている話でした。
「橋姫」長い語り、覚えるのは大変だったと思います。
真夏でのこわい話は一番！ 毎回楽しみにしております。ベテランの皆様、いつもありがとうございます。
- 初めて拝聴しましたが、語り手の皆さんの心を込めた語りに引き込まれた。機会あればまた参加したい。
- 「絵にかいた猫」ねずみと猫の大小関係が逆になるお話でした。

「あの世からのことづて」先祖を大切にすることお盆らしいお話です。ちょっと早口の部分がありましたね。

「じいさん、いるかい」追われ追われて恐さがつものつ先のオチは、ホッとするものでした。

「橋姫」長編のお話でした。

「土を食った婆さま」貧しい暮らしの中の悲しいお話でした。

「炭焼きかかの首」不思議な不思議なお話でした。

青いライティングが良かったです。

- ・涼しくなる程ではありませんが、皆さんのお話は語りも含めてすばらしかったです。楽しく拝聴しました。ありがとうございました。
- ・どの語りも、心に残っています。次回もとても楽しみです。いつまでも若々しい稲垣先生、いつまでも元気ください。
- ・今回も穏やかな時間を過ごさせていただきました。毎回思うのですが、語りの方々の声の大きさ、間の取り方が素晴らしく、情景がうかびます。ありがとうございました。
- ・夏に良いお話をありがとうございました。こわい話でしたが、楽しかったです。
- ・話にでてきたほとんどの人が、かならずしんでいるのでびっくりした。(小学生)
- ・こわそうだと思いましたが、子どもでも聞けるこわさでした。と思ったら、最後のお話「炭焼きかかの首」こわかったです…。お話をすべて覚えておられる語り手の方々、すばらしいですね。貴重な体験をありがとうございました。
- ・「炭焼きかかの首」かかはずっといっしょにいられてよかったですね。かかの「あい～」と「ふたりだぁー」が愛らしい。
- ・こういう機会はなかなかなく、貴重な体験でした。少しだけ聞くつもりが、だんだん聞き入ってしまいました。
- ・遅くなってしまい、すみません!! 最後の稲垣先生の語りが聞けて良かったです。

